

工事説明書

1. 工事上の注意

はじめに

- 施工業者様および本製品をお使いになるお客様への危害並びに財産への損害を未然に防止するために、この「工事説明書」を工事前によくお読みのうえ、正しく、安全に取付け工事を行ってください。
- 取扱説明書（保証書付）は施工中に紛失しないように注意して必ずお客様にお渡しください。
- 施工後のチェックおよび動作確認を必ず行い、お客様に使用方法を説明してください。
- 必ず「工事完了チェックシート」の項目を確認し、工事完了時に記入後、施工依頼元へ提示してください。

● 表示の説明

 危険 「死亡または負傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。	 警告 「死亡または負傷を負うことが想定される」内容です。	 注意 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。
--	---	--

● 図記号の説明

    は、してはいけない「禁止」の内容です。	  は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	--

⚠ 施工前の注意事項

- 本製品は、BS/CS 等の衛星放送は受信できません。
- CATV アナログ放送は正規周波数で放送されている場合は受信可能ですが、周波数をずらしていたり、専用セットトップボックスが必要な独自方式の場合は受信できません。
- 他の機器の映像や音声（音楽）をお楽しみになるには、別途 AV 機器の購入および外部入力コードの購入施工が必要になります。

1. 工事上の注意

- ① 本製品は精密な電子機器ですので、モニターやチューナーボックスの分解、ほこりやゴミの多い場所への取付け、濡れた手での作業等は行わないでください。
- ① モニターおよびチューナーボックスの施工後に雨やほこりが当たる可能性がある場合は、その可能性が無くなるまでの期間、防護用の簡易ケース等をかぶせてください。

2. 電源（AC100V）の工事

- ① AC100V 配線は、電気工事士の資格をお持ちの工事業者の方が確実に行ってください。
- ① AC100V 電源には、必ず漏電遮断器（漏電ブレーカー）および屋内開閉器（ブレーカー）を設置してください。
- ① AC100V の配線工事は、ブレーカーを落とした状態で行い、全ての工事が終了するまで通電しないでください。

3. アンテナ線の工事

- △ 受信可能チャンネルは、地上デジタル放送・地上アナログ放送共に UHF（13 ～ 62 チャンネル）、VHF（1 ～ 12 チャンネル）、CATV（C13 ～ C63 チャンネル）です。（ただし正規の周波数でない場合は、受信できません。）
- △ 地上デジタル放送を CATV で放送している場合、本製品は周波数変換パススルー方式の信号を受信できませんが、トランスモジュレーション方式の信号は受信できません。
- ① アンテナケーブル配線中に遠くで雷が鳴り出した場合は、感電の危険性がありますので、速やかに作業を中止し、雷が止むのを待ちください。
- ① 雷から守るため、アンテナと本製品の間に必ず保安器を設置してください。
- ① 本製品のアンテナ端子に供給される信号強度が 55 ～ 80 dB μ V の範囲になるように、ブースターやアッテネーター等を使用して調節してください。
- ① アンテナ線の芯線と編組線間に DC または AC 25V 以上の電圧が加わるとチューナーボックスが破損することがありますので、作業前に上記の電圧が加わっていないことを確認してください。
- ① モニターとチューナーボックスを接続するケーブルは、必ず別売の専用接続ケーブルセット（※）をご使用ください。
市販品等を使用すると、本製品が正常に動作しなかったり、故障するおそれがあります。
※ 専用接続ケーブルセット品番： VB-AF69 接続ケーブルセット /5m または VB-AF70 接続ケーブルセット /10m
- ① モニターとチューナーボックスを接続しているケーブルの着脱は、必ずチューナーボックスの電源を切ってから行ってください。チューナーボックスの電源を入れた状態でケーブルを抜き差しすると、本製品が故障するおそれがあります。

2. パッケージの確認と取付け概略図

● VB-J192 22V型浴室テレビ

No.	名 称	数量
1	モニター	1
2	フロントカバー (モニター用)	1
3	壁据付板	1
4	モニター固定ねじ バインド M4X10mm	4
5	モニター固定ねじ トルクス M4X10mm	2
6	チューナーボックス	1
7	B-CAS カード (チューナーボックスに内蔵)	1
8	リモコン	1
9	単4形乾電池 (リモコン用)	2
10	リモコンホルダー	1
11	両面テープ (リモコンホルダー用)	1
12	取扱説明書	1
13	工事説明書	1

● 接続ケーブルセット

施工状態に合わせ、別梱包または別送されます。

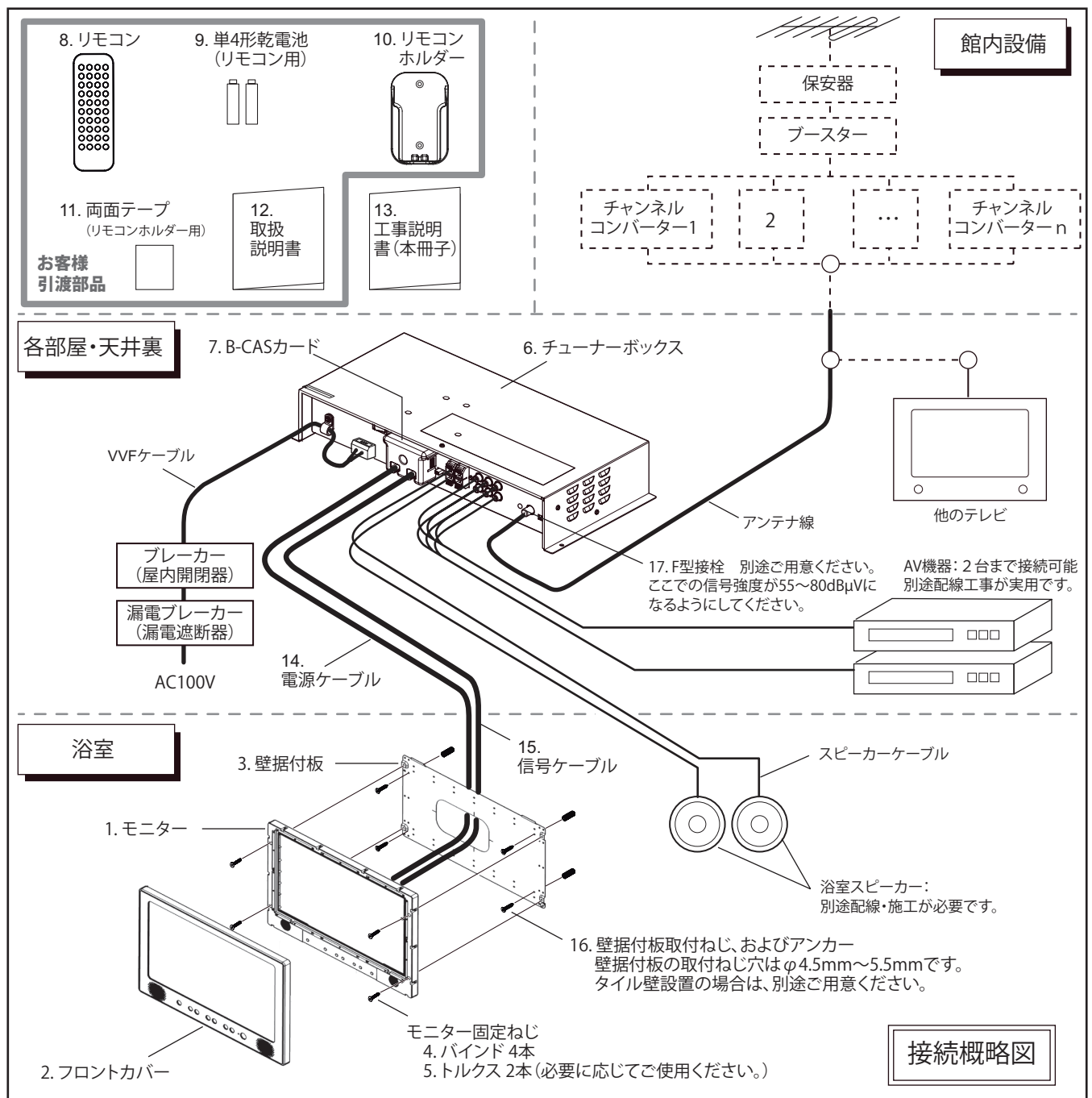
接続ケーブルセット 5 m VB-AF69

接続ケーブルセット 10m VB-AF70

No.	名 称	数量
14	電源ケーブル 5m/10 m	1
15	信号ケーブル 5m/10 m	1

● 施工業者様で用意していただく物

No.	名 称	数量
16	壁据付板取付けねじ、および アンカー	4~
17	F型接栓	1~2
18	自己融着テープ	適量



3. 取付け位置

壁の加工および浴室テレビの取付け方法は、壁の状態によって異なりますので、施工業者様にて壁に合った取付けを行ってください。

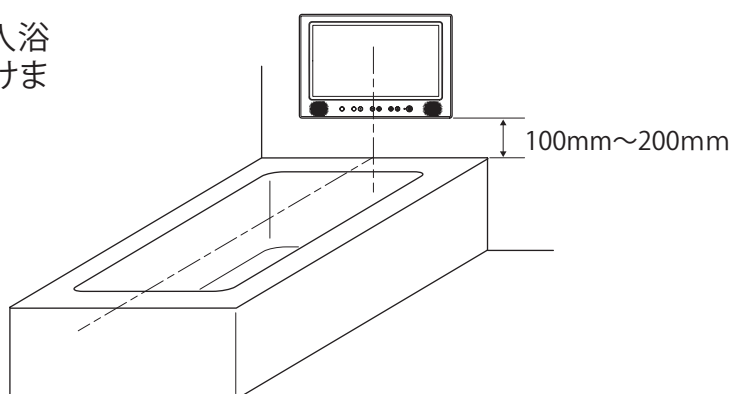
1. モニターの取付け位置を確認します。

⚠注意

- ・モニターが変形・故障するおそれがありますので、下記の場所には取付けないでください。
 - ・高温（50℃以上）になる場所：サウナ・スチームサウナ等
 - ・浴室乾燥機からの温風が直接あたり、高温（50℃以上）になる場所
 - ・特殊薬品を使用する場所
 - ・屋外から直射日光が当たる場所
 - ・給湯栓やシャワー等からの湯が直接かかる場所
- ・モニターの取付けは、傷・破損を防ぐため浴室の設置後に行ってください。
- ・モニターの取付け位置がお風呂設備用リモコンや蛇口等と干渉しないかご確認ください。
- ・浴室壁の裏面にリブがある場合は、リブをさけて取付け穴の位置を選定してください。

浴槽の上面中央部から 100mm 以上離し、入浴時にモニターが目線の高さになるように取付けます。

取付け位置の目安は 100mm ～ 200mm です。
浴室に合わせて位置を調整してください。

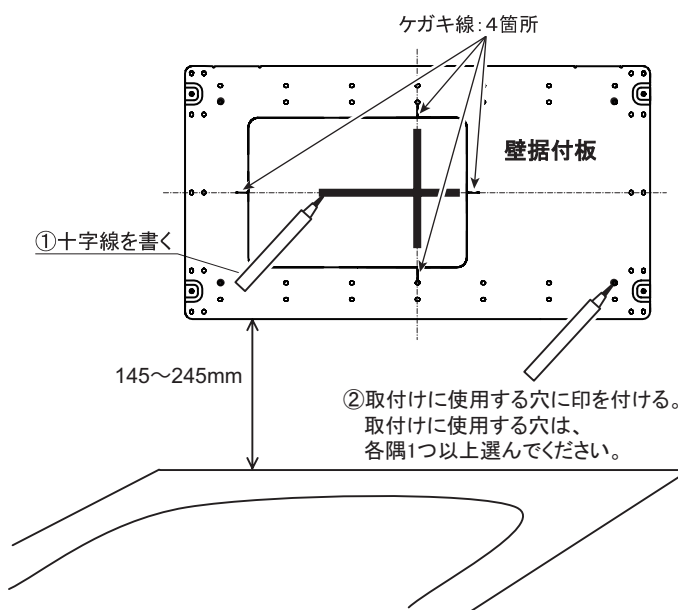


2. 配線穴と壁据付板取付け穴の位置を確認します。

⚠注意

- ・壁据付板の取扱時は、端面で指などをきらないようご注意ください。
- ・壁据付板が傾かないよう、水平を確認してください。

- 1) 浴室壁の取付け予定位置に壁据付板を当てます。
- 2) 壁据付板のケガキ線に合わせて、浴室壁に十字線を書きます。
- 3) 浴室壁の裏面にリブ等が無いことを確認し、壁据付板の取付け穴の中から、取付けに使用する穴を4カ所以上選び、壁面に印を付けます。



4. 壁の穴開けおよび加工

⚠注意

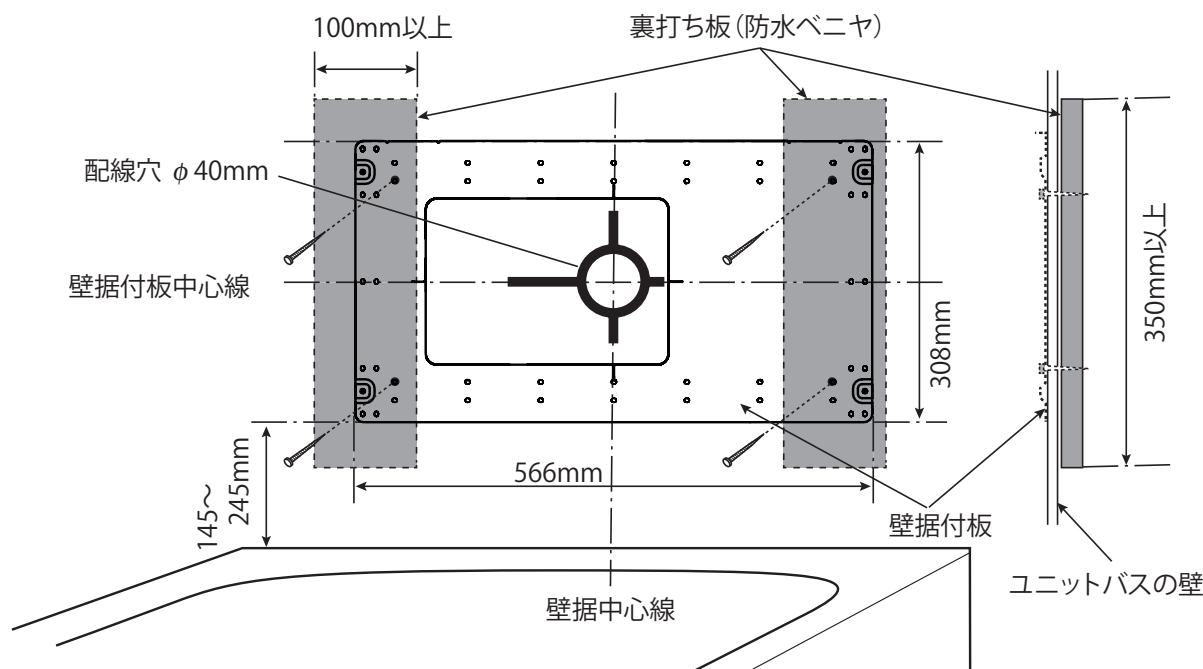
- 壁に十分な強度がない場合は、壁据付板取付ねじの外側（浴室の外側）に補強用の裏打ち板（防水ベニヤ）を取り付けてください。
- 浴室壁パネル裏側にリブがある場合は、裏打ち板を切断、分割して取付けてください。
- 裏打ち板は壁据付板取付ねじを打つ際に剥がれないよう、確実に取付けてください。
- ユニットバス設置後の施工が難しい場合は、ユニットバス設置前に事前に壁加工を行ってください。特に裏打ち板が必要な場合はご注意ください。

1. 壁に接続ケーブルを通す穴を開けます。

3ページの「2. 配線穴と壁据付板取付け穴の位置」で十字に印を付けた交点を中心としてφ40mmの穴を開けてください。

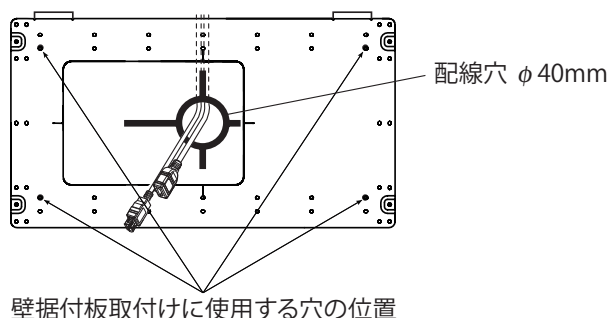
2. 補強用に裏打ち板を取付けます。

取付ける壁に十分な強度を確保できない場合は、下図のような裏打ち板を取付けてください。



3. 壁据付板を取付ける下穴を開けます。

- 1) 3ページの「2. 配線穴と壁据付板取付け穴の位置」で印を付けた、壁据付板取付けに使用する穴の位置に、下穴を開けてください。



- 2) タイル壁やコンクリート壁の場合は、壁据付板取付けに使用する穴にアンカーを使用してください。

5. モニターの取付け

1. 壁据付板を取付けます。

⚠注意

- ・ 取付ねじは、壁に合わせて別途ご用意ください。
- ・ 壁据付板の取付ねじ用の穴はφ4.5-5.5 mmですので、φ4.0 前後のねじをご使用ください。

2. モニターを取付けます。

⚠注意

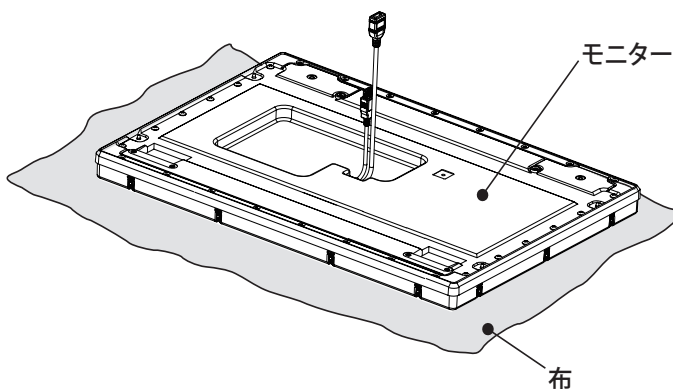
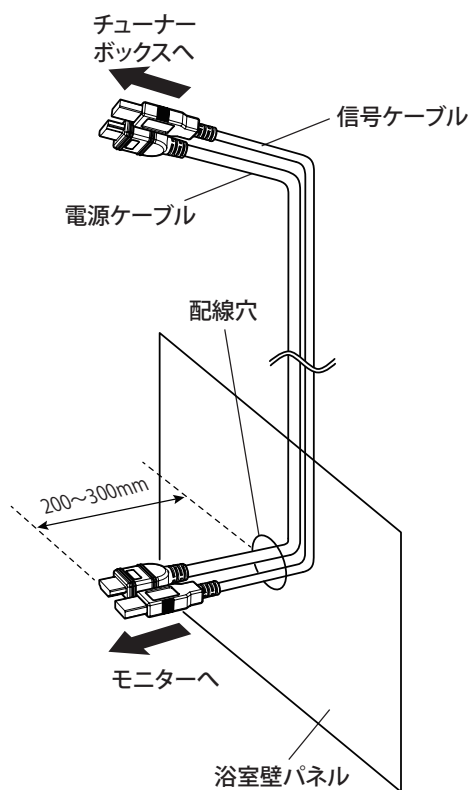
- ・ モニターの傷、破損を防ぐため、浴室の工事終了（壁乾燥）後に行ってください。
- ・ モニターに傷が付くのを防ぐため、モニターを載せる台や布を用意してください。
- ・ モニター固定ねじの締め付けは、手締めで行ってください。インパクトドライバーを使用しないでください。
- ・ モニター固定ねじを締込む際は水平器で水平を確認しながら行ってください。
- ・ 信号ケーブルおよび電源ケーブルの接続は、チューナーボックスの AC100V 接続前に行ってください。
- ・ 信号ケーブルおよび電源ケーブルがモニターと壁据付板、壁の間に挟まれないようご注意ください。

- 1) フロントカバーをはずします。
フロントカバーの角に指を掛けて、均等に力をいれながら少しずつ引き抜きます。
- 2) 信号ケーブルおよび電源ケーブルを配線用の穴から浴室の中へ 200 ～ 300 mm 引き出してください。

⚠注意

- ・ ケーブルを無理に引っ張ると内部で断線を起こす場合がありますので、無理な力をかけないでください。
- ・ モニターとチューナーボックスを接続するケーブルは必ず、別売の専用接続ケーブルセット (VB-AF69 または VB-AF70) をご使用ください。
市販のケーブルを使用すると本製品が故障するおそれがあります。

- 3) 傷防止のため、布を敷いた台の上にモニターの画面を下向きに置き、壁からケーブルに近づけてください。

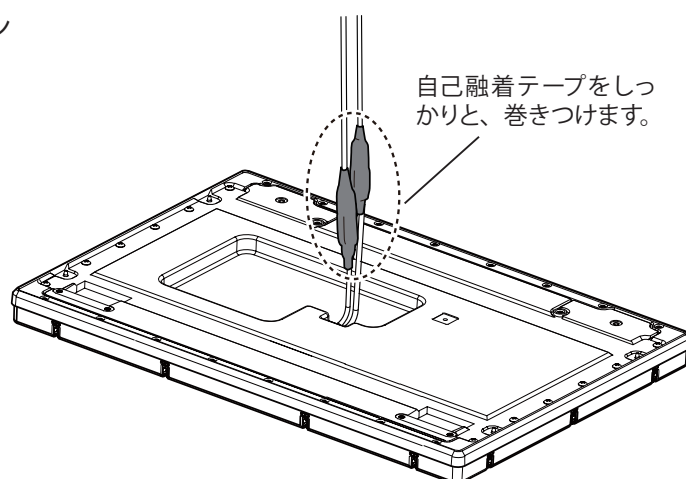


5. モニターの取付け（つづき）

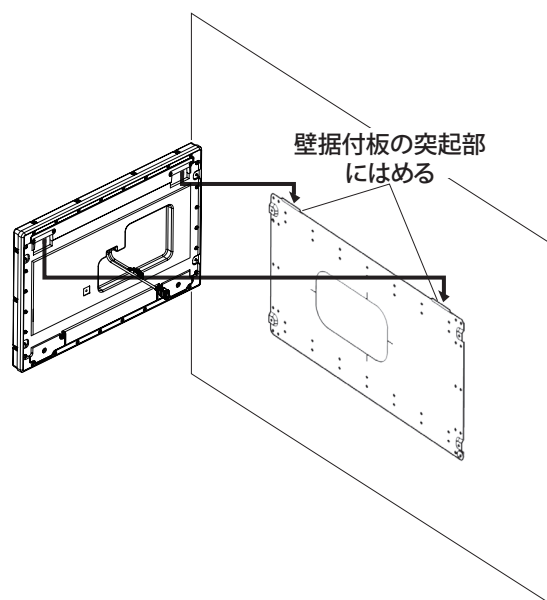
- 4) モニター背面から出ているそれぞれのケーブルに、信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。

⚠ 注意

- 接続後には必ず、コネクター部分を、自己融着テープを巻き付け、防水対策をしてください。
コネクター部分は、非防水です。
- 電源を入れた状態で、モニターとチューナーボックスを接続するケーブルを抜き差ししないでください。本製品が故障するおそれがあります。



- 5) モニターを壁据付板の上の左右2か所にある突起部にひっかけます。

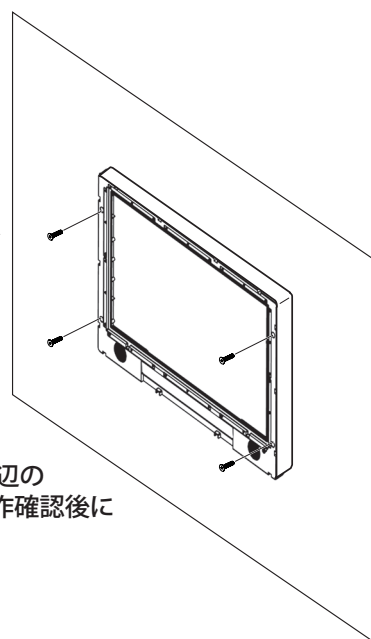


- 6) 付属のモニター固定ねじ4本でモニターを壁据付板に固定します。

⚠ 注意

- ケーブルをモニターと壁の間に挟まないように注意してください。モニターが変形して水漏れの原因になります。
- モニター固定ねじの締め付けは、手締めで行ってください。

モニター固定ねじ
4箇所(付属品)



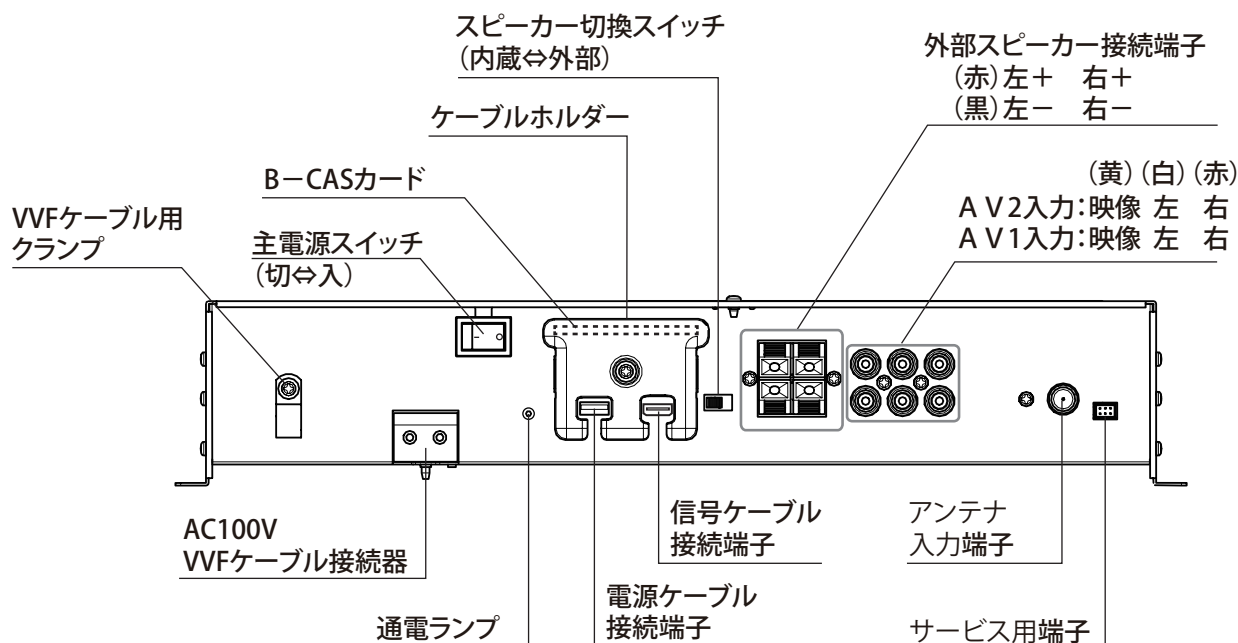
モニターの全周4辺の
コーキングは、動作確認後に
行ってください。

6. チューナーボックスの取付け

1. チューナーボックスを設置する天井裏部分のホコリ等を除去します。

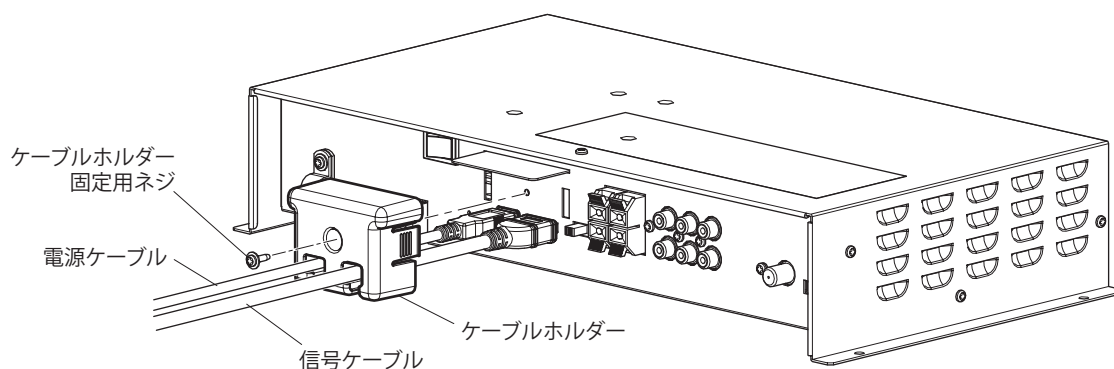
⚠ 注意

- ・ チューナーボックスは、天井点検口等から点検できる位置に設置してください。
- ・ 天井裏に設置するスペースが取れない場合は、浴室外の湿気やホコリが少なく点検修理が可能な場所に設置してください。



2. チューナーボックスに、信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。

- 1) ケーブルホルダー固定用ネジをはずし、ケーブルホルダーをはずしてください。
- 2) 信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。
- 3) ケーブルホルダーを、ケーブルホルダー固定用ネジで固定します。



⚠ 注意

- ・ B-CAS カードは抜かないでください。
- ・ B-CAS カードの位置がずれた場合は、抜き差しをして正しい位置に戻してください。

6. チューナーボックスの取付け（つづき）

3. VVFケーブルを接続します。

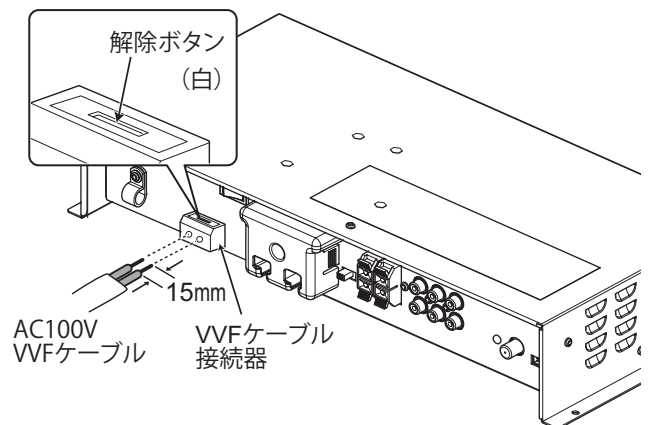
⚠注意

- ・屋内 AC100V 配線は、電気工事士の資格をお持ちの工事業者の方が確実に行ってください。
- ・チューナーボックスの主電源スイッチが必ず「切」の状態で行ってください。
- ・必ず漏電遮断器および屋内開閉器のある電路に接続してください。

- 1) チューナーボックス背面にでている VVF ケーブル接続器に、AC100V の VVF ケーブルを接続してください。

⚠注意

- ・VVF ケーブルは $\phi 1.6 \sim 2.0\text{mm}$ を使用してください。
- ・VVF ケーブルは芯線を 15mm できるように加工して VVF ケーブル接続器の奥まで挿入してください。VVF ケーブルをはずすときは、VVF ケーブル接続器の解除ボタン（白）を最大 2.4mm まで押して、抜いてください。解除ボタン（白）を 2.4mm 以上強く押し込むと破損の原因になります。



- 2) VVF ケーブルを、VVF ケーブル用クランプで固定します。

4. アンテナケーブルを接続します。

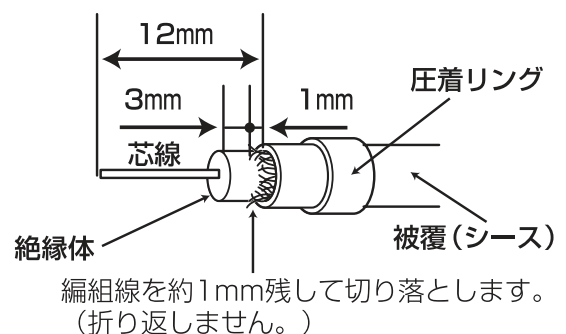
⚠注意

- ・アンテナ F 型接栓は施工業者様にてご用意ください。
- ・モニター取付け前にアンテナケーブルの事前工事を行う場合は、天井付近に長さ 3m 程度の余裕を持たせてください。
- ・適合アンテナケーブル（同軸ケーブル）は、5C-2V または TVEFCX です。信号強度は 55 ～ 80dB (μV) であることを確認してください。

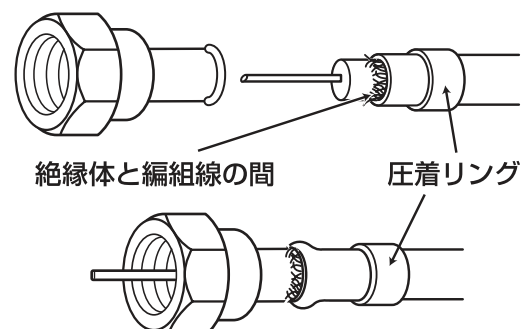
- 1) アンテナケーブル（同軸ケーブル）を下図のように加工し、圧着リングを通します。

⚠注意

- ・アンテナケーブルが出来るだけたるまないように長さを調整してから加工してください。



- 2) F 型接栓を、アンテナケーブルの絶縁体と編組線の間、奥まで差し込みます。

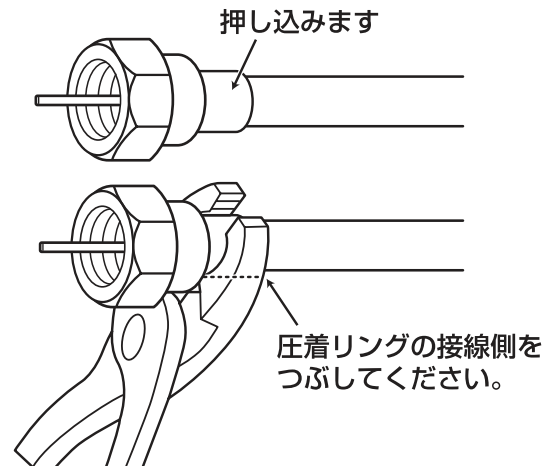


6. チューナーボックスの取付け（つづき）

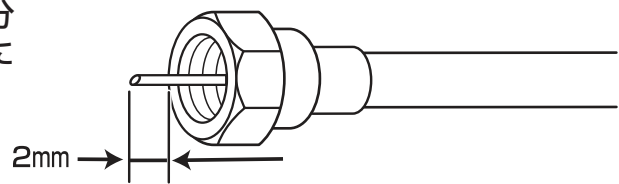
- 3) 圧着リングをF型接栓と被服（シース）の上にかぶせ、プラグが抜けないようにプライヤ等で締め付けます。

⚠ 注意

- ペンチを使用する場合は、アンテナケーブルを切らないように、先端を使用してください。



- 4) 芯線をF型接栓から2mm程残し、余分な部分を斜めにカットし、芯線をまっすぐにして中心に位置するようにします。

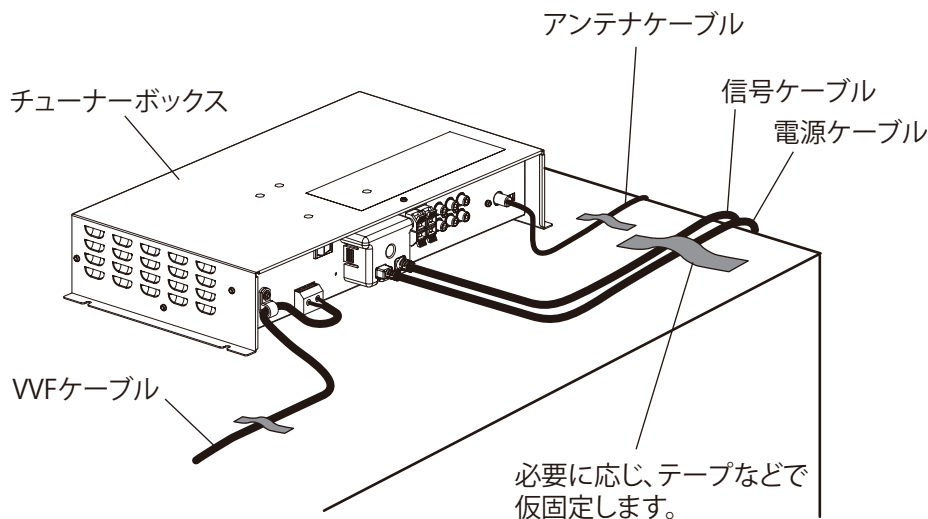


- 5) F型接栓をアンテナ入力端子に接続します。

5. 各ケーブルは浴室天井裏部にテープ等で、しっかりと固定してください。

⚠ 注意

- ケーブルを引っ張ったり、無理に力をかけないでください。ケーブルが断線する原因になります。
- 余ったケーブルは、テープ等で束ねてから固定してください。



7. オプションの工事

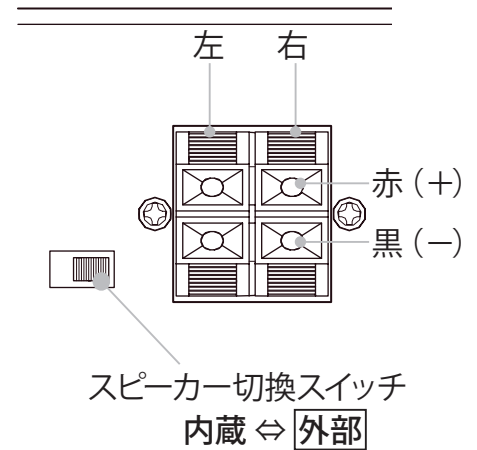
●外部スピーカーを接続する

モニターの音声を外部スピーカーから出力する際に、必要な施工です。
モニター内蔵のスピーカーと同時使用は出来ません。

- 1) スピーカーコードの被覆を約 10mm 剥き、チューナーボックスの外部スピーカー端子に接続します。
- 2) スピーカー切換スイッチを「外部」にします。

⚠注意

- ・ 外部スピーカーの適合インピーダンスは、4～8Ωです。
 - ・ スピーカーの左 / 右および極性 (+ / -) は正しく接続してください。
- 左右や極性を間違えると、正常な音が出なくなります。



●外部映像機器を接続する

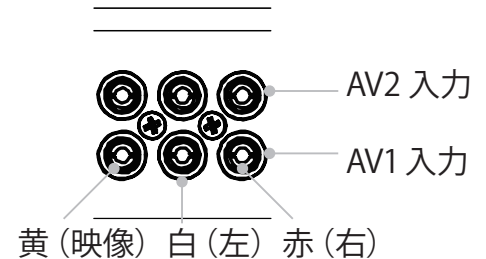
テレビ放送 / ケーブルテレビ放送以外に、映像機器を接続してご覧になる際に、必要な施工です。

<入力端子仕様>

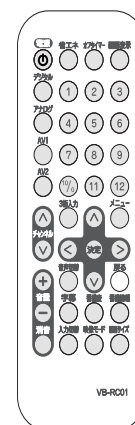
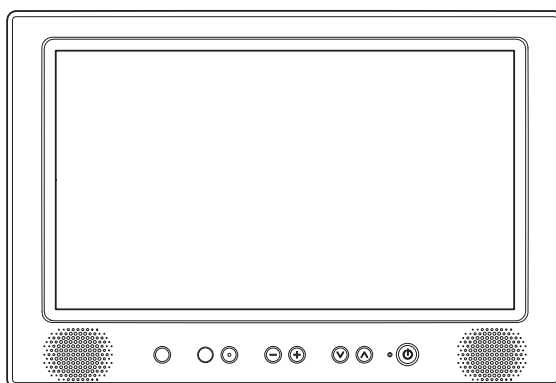
	端子形状・色	仕様
映像	RCAピンジャック 黄	NTSC コンポジット インピーダンス：75 Ω 電圧：0.7Vp-p
音声信号	RCAピンジャック 赤 (右) / 白 (左)	インピーダンス：10k Ω以上 電圧：0.5Vrms

⚠注意

- 1) 外部映像機器の端子の色と AV コードのプラグの色(黄・赤・白) を合わせて接続します。
- 2) 接続した端子 (AV1/AV2) に合わせて、モニターの入力切換ボタンを押して、「AV1」または「AV2」を選択します。



8. チャンネル設定と動作確認



- 室内開閉器（ブレーカー）を「入」にした後、次の操作・設定・確認をしてください。

⚠注意

- ・ 電源を入れた状態で、モニターとチューナーボックスを接続している信号ケーブルと電源ケーブルを抜き差ししないでください。本製品が故障する恐れがあります。

8. チャンネル設定と動作確認（つづき）

1. チャンネルを設定します。

リモコンを使って、チャンネルの設定を行ってください。モニターのボタンではチャンネル設定できません。

- ・ リモコンの $\odot$ ∇ $\triangleleft$ $\triangleright$ で項目を選択し、 $\odot$ で決定してください。
- ・ 前のメニューや項目に移る場合は、 $\odot$ を押してください。

項 目	手 順
1. 電源を入れる	(1) チューナーボックスの主電源スイッチを「入」にしてください。 モニターの電源ランプが赤色で点灯します。 (2) モニターの$\odot$ を押してください。 モニターの電源ランプが緑色になり、「(メニュー) ボタンを押してチャンネル設定を行ってください」と表示されます。
2. 地上デジタル放送のチャンネルを設定する	1. 地域設定 (1) $\odot$ を押し [メニュー] 画面を表示します。 (2) [デジタル設定] を選択し $\odot$ を押します。 (3) [受信設定] メニューが表示されます。 [地域設定 (地域名)] を選択し決定ボタンを押します。 「(地域名)」には、前回選択した地域名が表示されます。工場出荷時の「(地域名)」は「(東京)」です。 (4) 一覧から該当の地域 (北海道・東北・関東など) を選び $\odot$ を押します。 (5) 該当の県または地域を選択し $\odot$ を押します。 地域が設定され、[受信設定] メニューに戻ります。 2. チャンネル自動設定 (1) [チャンネル自動設定] を選択し $\odot$ を押します。 (2) [探す (全チャンネル)] を選択し $\odot$ を押します。 以下のチャンネルを検索します。 VHF 1 ~ 12ch, UHF 13 ~ 62ch, CATV C13 ~ C63 (3) 検索が開始され、進捗を表す画面が表示されます。 (4) 検索が終了すると、チャンネルボタン番号と放送局の一覧が表示されます。 (5) [更新する] を選択し $\odot$ を押します。 チャンネルが設定され [受信設定] メニューに戻ります。 3. アンテナ受信レベルの確認 確認方法は取扱説明書の「受信レベルの確認」(24 ページ) を参照してください。
3. 地上アナログ放送のチャンネルを設定する	(1) $\odot$ を押し「地上アナログ放送」に切り替えます。 (2) $\odot$ を押し [メニュー] 画面を表示します。 (3) [チャンネル] を選択し $\odot$ を押します。 (4) [オールスキャン設定] を選択し $\odot$ を押します。 [オールスキャン設定] 画面が表示されます。 (5) $\odot$ を押します。 (6) 設定が開始され、進捗を表す画面が表示されます。 (7) 設定が完了すると、「オールスキャンを終了しました。」と表示されます。 (8) $\odot$ で映像画面に戻し、チャンネル $\odot$ ∇ を押して全てのチャンネルが設定されたことを確認します。

8. チャンネル設定と動作確認（つづき）

2. 動作の確認を行います。

モニターの電源を入れ、動作確認を行ってください。

項 目	手 順
各ボタンの確認	(1) モニターの各ボタンが正常に機能することを確認する。 (2) リモコンの各ボタンが正常に機能することを確認する。
映像の確認	(1) チャンネル表示の確認 現在のチャンネル番号が画面上に表示されることを確認してください。 表示されない場合にはリモコンの ^{画面表示} を押してください。 (2) チャンネルボタンの確認 チャンネルが前後の局に移動し、チャンネル番号が画面に表示されることを確認してください。
音量の確認	(1) 音量表示の確認 音量 ⁺ ⁻ ボタンを押して、音量バーが画面下に表示されることを確認してください。 (2) 音量ボタンの確認 音量調節ができ、音量バーが変化することを確認してください。 テレビ信号のない状態では音声が出ませんので、テレビ映像および音声の出た状態で確認してください。

3. 初期設定を行います。

初期設定では、電源を入れた際の初期値を設定することができます。
お客様とご相談の上、必要に応じて初期設定を行ってください。

- ・ モニターの電源を入れ、リモコンの^{画面表示}、⑨、①、⑥を約1秒間隔で押すと、初期設定メニューが画面左に表示されます。
- ・ ^上^下で項目を選択し、^左^右で設定内容を選択してください。
- ・ [OK] を選択し^{決定}を押すと、選択した設定が登録されます。

項 目	手 順
入力初期選択	電源を入れた際に起動する入力を設定できます。 [オフ] : 電源を切る直前の入力となります。 [テレビA] : 電源を入れた際に、地上アナログ放送となります。 [テレビD] : 電源を入れた際に、地上デジタル放送となります。 [AV1] : 電源を入れた際に、AV1入力となります。 [AV2] : 電源を入れた際に、AV2入力となります。
メニューロック 推奨設定:[オン]	^{メニュー} を押したときに[メニュー]画面を表示しないように設定できます。 [オフ] : ^{メニュー} を押すと[メニュー]画面を表示する。 [オン] : ^{メニュー} を押しても[メニュー]画面を表示しない。
音MAX設定 推奨設定:[10]	最大の音量を選択できます。最大の音量は3～30の間を3刻みで選択できます。 [オフ] : 最大音量60 [1] : 最大音量3 [2] : 最大音量6・・・[10] : 最大音量30
音初期設定 推奨設定:[20]	電源を入れた際の初期音量を設定できます。初期音量は1～30の間で選択できます。
オフタイマー設定 推奨設定:[60分]	電源を入れた際のオフタイマーの初期値を設定できます。 電源の切り忘れを防止するために、できるだけ60分に設定してください。
ACH初期設定	地上アナログ放送に切り替えた際に、表示するチャンネルを設定できます。
DCH初期設定	地上デジタル放送に切り替えた際に、表示するチャンネルを設定できます。

9. コーキング

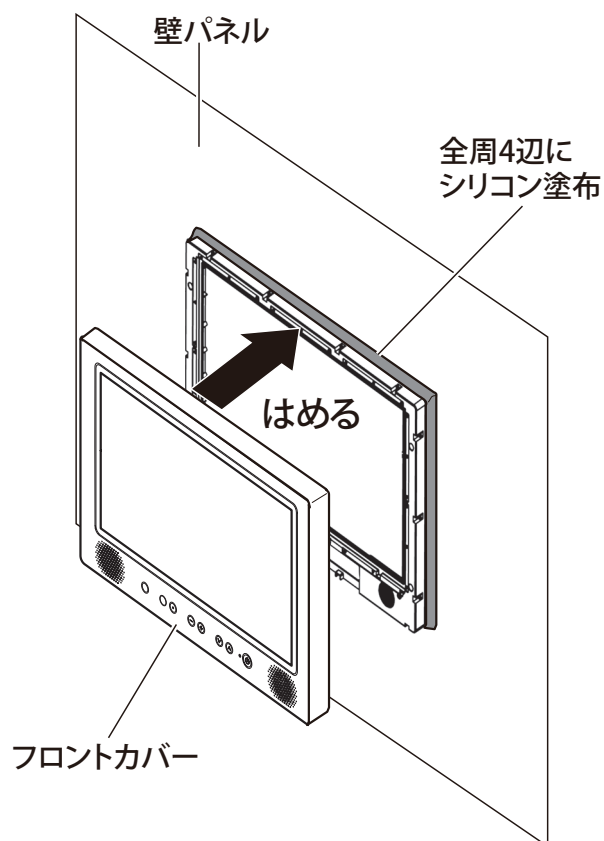
⚠ 注意

- 動作確認後にコーキングしてください。
- 壁パネルの配線穴にはコーキングしないでください。
- 必ずモニターの全周4辺にコーキングしてください。

1) モニターと壁パネルの接触部分（全周4辺）にシリコンを切れ目なく塗布してください。

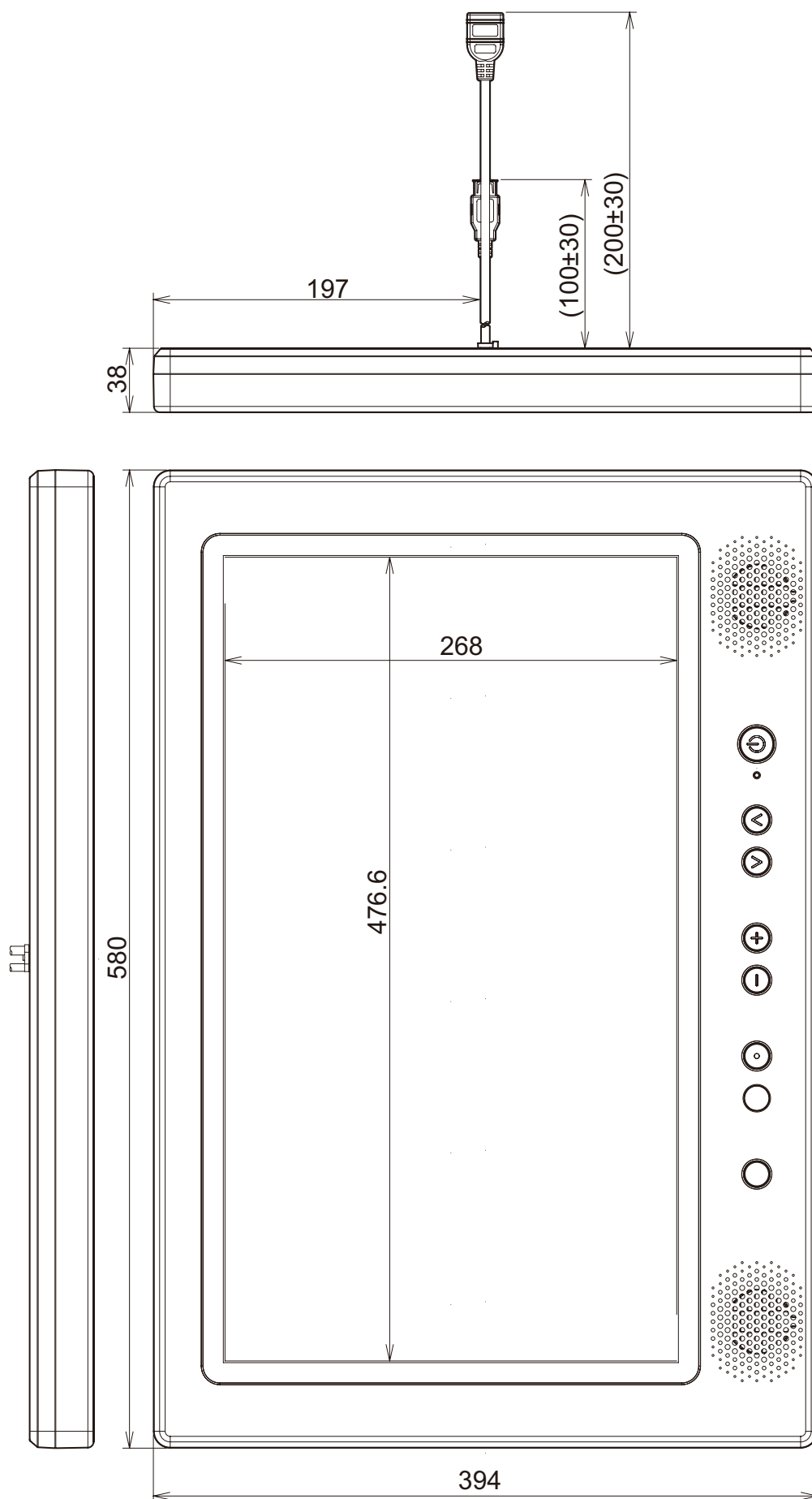
（モニター背面に水が入るのを防止します。）

2) フロントカバーの突起を、モニター本体のフックに合わせてゆっくり押し込み、はめてください。



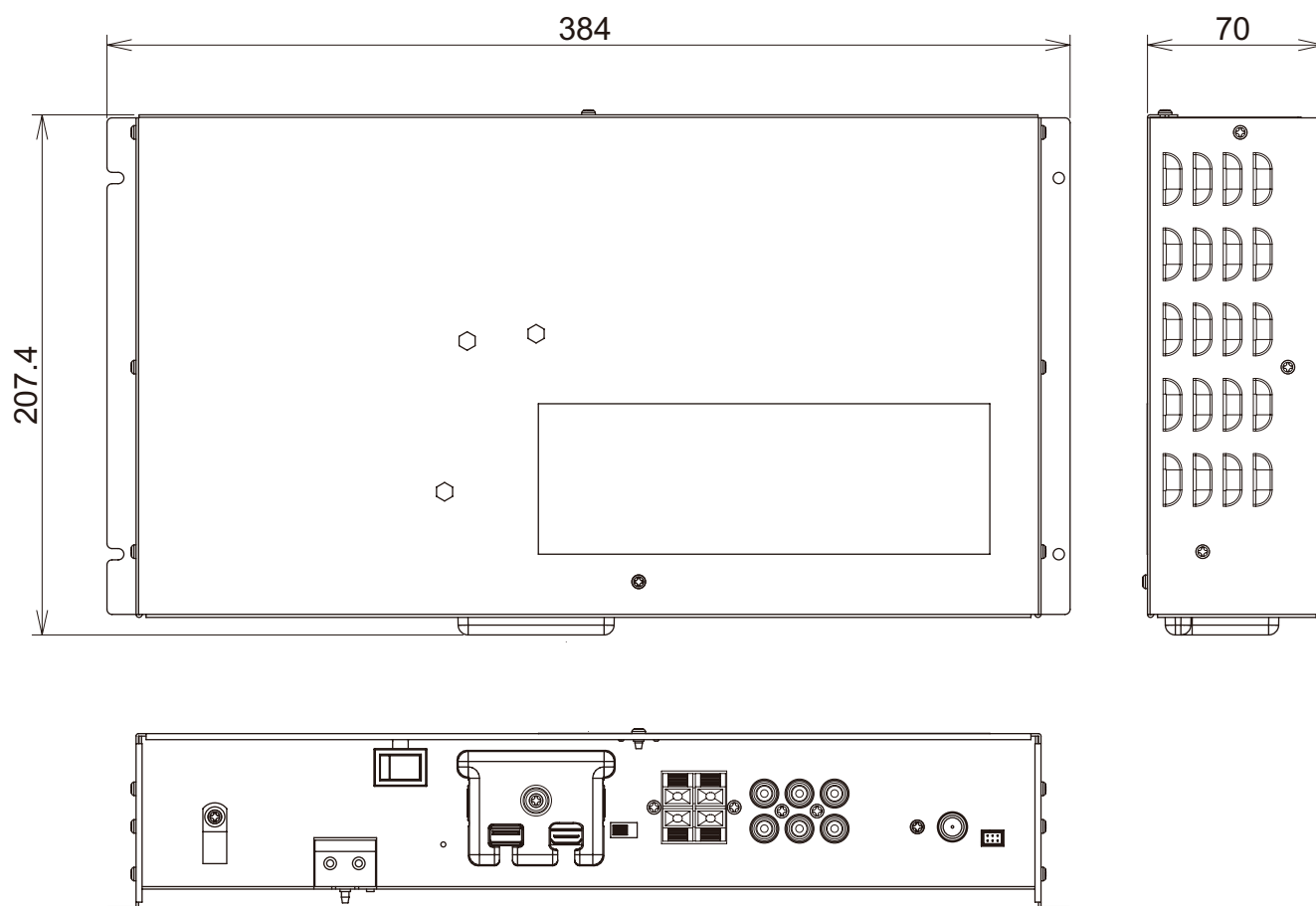
10. 製品外形図

●モニター



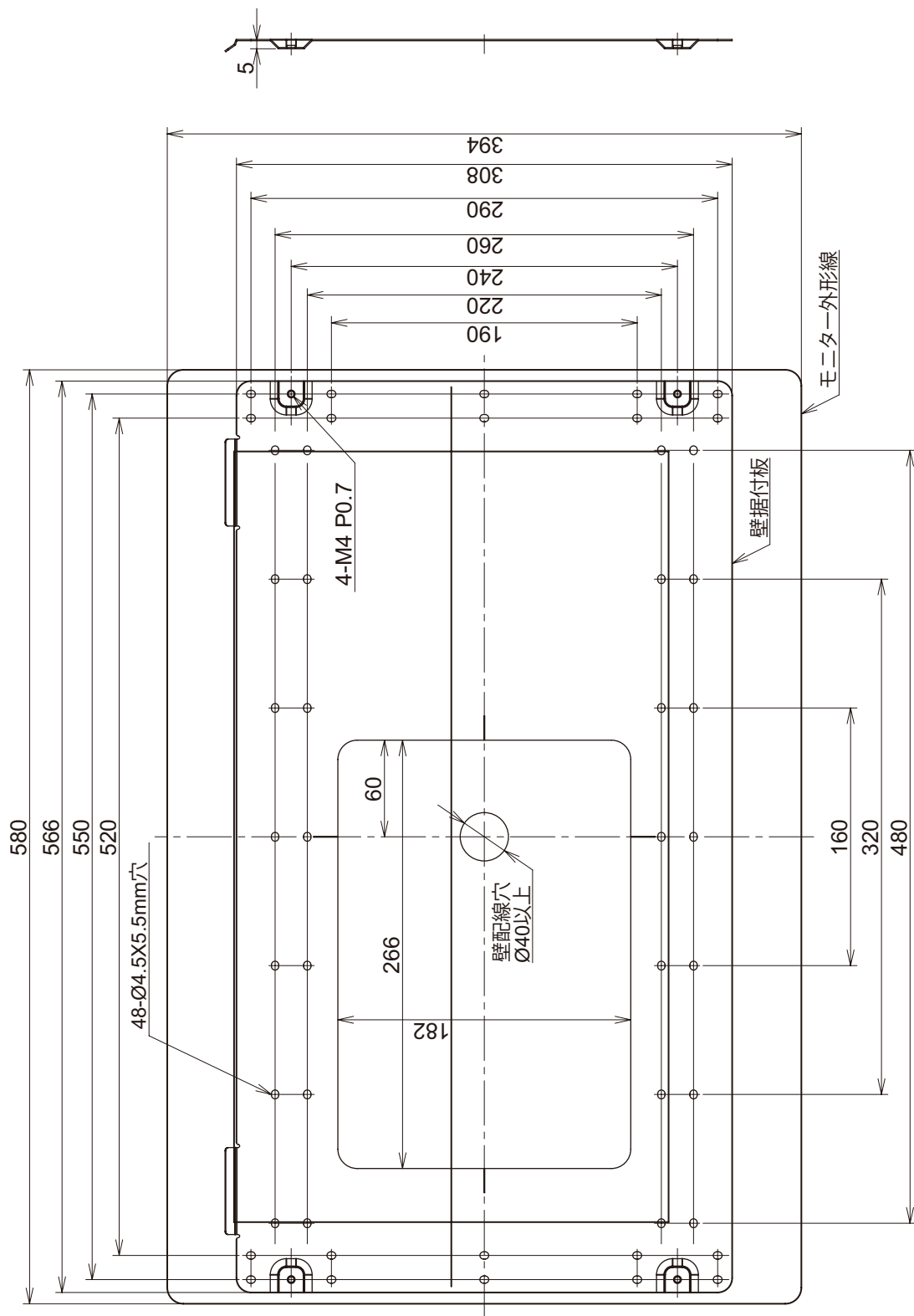
10. 製品外形図（つづき）

●チューナーボックス



10. 製品外形図 (つづき)

●壁据付板



TWINBIRD ツインバード工業株式会社

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

修理サービスに関するお問い合わせ「お客様サービス係」

☎ (フリーダイヤル) 0120-337-455 FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間: 平日 (月曜～金曜) 午前9時～午後5時

ホームページアドレス <http://www.twinnbird.jp>

TeX1112A